

高校生一日医師体験ニュース

2017.1.20 冬号

1月4日(水)・5日(木)・6日(金)の3日間で高校生一日医師体験を開催いたしました。
リピーター体験には延べ20名、初回体験には29名の参加と大盛況でした！
ご協力いただいた各部門のみなさま、ありがとうございました！



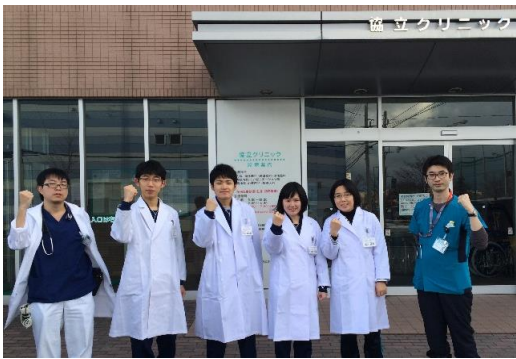
参加者全員に、丁寧に内視鏡操作を指導する佐々木先生。操作している表情は真剣です。

竹本先生より心肺蘇生法について学んでいます！



4日は協立往診体験に4名、胃カメラ体験・救急医療体験に5名が参加しました。
(感想より)

- * 往診に同行させていただき、患者さんを間近でみて胸が苦しくなる場面もあったが、患者さんと接しているのを見ていううちに、とてもやりがいのある仕事だと思った。
- * 緊急で運ばれてきた患者さんの診療を直接みる事ができて、初めての体験でしたがとても感動した。
- * 普段触ることのできない内視鏡を、実際に操作することができ、貴重な体験ができた。



5日は中部クリニックの往診体験に4名、救急医療体験に1名、心臓カテーテル体験に6名参加しました。
(感想より)

- * 往診を通して、全ての患者さんに寄り添って治療をしていくことの大切さを学べてよかった。
- * 救急医療は血圧・呼吸数・酸素濃度などのデータが、とても大事だとわかった。検査データで異常値があれば病名を推測しなければいけないし、薬も日々変更となるので、常に勉強し続けなければ務まらない仕事だと改めて思った。
- * 実際にカテーテルを触ったが、ものすごく細くてびっくりした。時間も長く、大変だと思った。

吉町先生も特別指導！
カテ見学した高校生より、
“医療の楽しさ”などの話が聞けて、今後の励みになったとの声があがっていました。



6日は初回体験で高校生29名、弘大医学生2名の過去最高の31名が参加しました。

「笑って死ねる病院」DVD鑑賞後、4班に分かれて院内見学体験を行いました。

各部門の担当者の説明に、参加した高校生は熱心に耳を傾けていました。

磯島先生との懇談会では、高校生全員の質問に丁寧に答えていただきました。参加した高校生からは、次回の医師体験にもぜひ参加したいとの声があがっていてみな充実した様子でした。

リピーター体験でお待ちしています。

何度でも見学にきてくださいね！！